

地域組織の確立で
会員間の絆の促進を



第158号

発行日 2021年2月25日

発行者 JAMシニアクラブ

mail jam-senior@jam-union.jp

発行所 東京都港区芝2-20-12 友愛会館11階 JAM本屋内 〒105-0014 電話03-3451-2650 fax03-5440-7389

WEBで第2回三役会議開催

組織拡大対応指針など協議

JAM北海道シニアクラブ結成へ加速

政府の新型コロナウイルス対応の拙さから市中感染が広がり、いつどこで感染してもおかしくない状況が続いている。1月7日には再び緊急事態宣言がだされ、その緊急事態宣言が3月7日まで延長された直後の2月5日、シニアクラブ三役会議をリモートで開催した。上半期の活動と会計進捗、外部動向を整理、1万人会員実現プラン、60歳以降継続雇用者に対する対応指針、結成20周年記念行事について協議した。

二役会議の冒頭、大山会長はコロナの収束の見通しがつかない現状にふれ「ワクチン接種の間が掛かる。活動に制限がかかる。約はかかるがやることはしっかりとやっていく」とウイズコロナとなるリスクを加味した

今後の取り組みについて語った。報告事項は①JAM北海道シニアクラブ結成準備②緊急事態宣言発令に伴う事務局対応③全国儀式サービスとの契約④2024通常国会に向けた政策

全国儀式サービスとの契約のお知らせ

JAMシニアクラブは株式会社「全国儀式サービス」と契約し葬儀を中心とした「葬儀支援サービス」を導入しました。葬儀は予測や準備が難しく、精神的にも費用面でも負担が大きいものであります。葬儀に必要なものが基本セットとして低廉な価格で事前の相談も電話1本で利用いただけますのでご案内いたします。

葬儀に関する手配 依頼 事前相談の連絡先

全国儀式サービスコールセンター
Tel. 0120-421-493 <http://www.qishiki.co.jp>
24時間365日対応/通話料・相談料無料です。
※詳細はJAMシニアクラブ「葬儀支援サービスのパンフレット」をご参照ください。

2021年は、新型コロナウイルスに感染しない、感染させないことを最優先にする年です。高齢者は重症化のリスクも高く、日本退職者連合は、通常国会の開始に合わせ地方からも参加する恒例の国会・参議院議員会館での院内集会を中止にしました。ワクチンによる集団免疫の獲得には年単位の時間がかかり、地方自治体によっては始めている地域、施設など重点を絞った検査の拡充で無症状感染者の発見と保護により感染状況が落ち着くまで、人と人との接触を避けなければなりません。

菅政権は民主主義を壊す

立憲民主主義基軸の政権へ

JAMシニア会長 大山 勝也

感染症は、自公政権による保健所の削減、公的・公立病院の再編・縮小、急性期病床の削減などによる日本の公衆衛生・医療分野の欠陥をさらけ出す



主張

また、イギリス・アシアは断念したもののイギリス・システム搭載艦2隻建造に切り替わり、スタンダード・オフ・ミサイルなど長距離ミサイルの整備が予定され、日本の南西諸島

拒否「情報秘匿」は民主主義を破壊します。安倍・菅政権の隠蔽、虚偽、改竄は許せません。しかし、今年の1月には、核兵器が国際法で違法となる核兵器禁止条約が発効し、アメリカではバイデン大統領が就任し地球温暖化対策の国際枠組み「パリ協定」へ復帰するなど将来を明るく照らすものです。今年には必ず総選挙があり、立憲民主主義を基軸とする政権で新しい時代を切り開いていく機会です。時によってリモートを使つての会議、研修会を開催します。

の基地強化が進み、専守防衛を逸脱する「敵基地攻撃能力」を持つことができる方向に進んでいます。平和外交の推進が必要です。しかも、菅政権は、日本学術会議の会員任命拒否の理由を国会で説明しないなど国権の最高機関である国会をないがしろにしています。「説明拒否」「情報秘匿」は民主主義を破壊します。安倍・菅政権の隠蔽、虚偽、改竄は許せません。

制度要求を確認した。これまで北海道に取り組んできた「北海道シニアクラブ」の結成に向けた議案がJAM北海道執行委員会承認された。現役を含めた関係者のみなさんの努力が具体的に発起人から準備会の立ち上げ、10月結成に向けて動き出したことはシニアクラブにとって大きな朗報となった。また国会審議に併せて開催してきた退職者連合の「院内集会」を今年には中止することとなったが緊急アピールで指摘したコロナ対策を春要求の柱に補強。各政党への要請行動として実施する報告があった。

協議事項では、1万人会員実現プランと60歳以降継続雇用者に対する対応指針を協議し整理した。組織活動事例集はコロナ禍でヒアリングが困難な場合には発行を延期することとした。また、結成20周年記念行事は9月3日定期総会終了後に実施。座談会の開催と記念誌の発行などの行事について意見交換した。

協議事項では、1万人会員実現プランと60歳以降継続雇用者に対する対応指針を協議し整理した。組織活動事例集はコロナ禍でヒアリングが困難な場合には発行を延期することとした。また、結成20周年記念行事は9月3日定期総会終了後に実施。座談会の開催と記念誌の発行などの行事について意見交換した。

定期開催 総会

対策を徹底し招集総会を開催 酒田会長が勇退、居原田新会長へ

山元 明 事務局長

滋賀シニアは2020年10月24日(土)10時から「3密」対策を徹底して「第18回定期総会」を総勢33名(代議員25名、来賓3名、現役単組4名、講師1



名が参加しライブビュール都賀山で開催した。今年の総会開催にあたっては、新型コロナウイルスとの闘いでもあり、幹事会で慎重に協議した結果、開催することを判断した。背景には、酒田会長の勇退、居原田新会長の就任と新役員体制での船出、新会員の紹介などと併せ、仲間同士の健康確認(ストレス発散)



と、多くの背景が見え隠れするなかでの総会でした。

今期で勇退される酒田会長からは、計画はしたもののコロナ禍で自粛せざるをえない状況に追い込まれた。安



倍政権の打つ手は「後手、後手」となり、それぞれに苦労があったと思う。この環境下の中、新しい運動の在り方を模索しつつ現役との関係強化をお願い

九州山口 総会

幹事会で活動方針など確認 多くの会員が集う総会の開催を願い閉会

宮本 日出男 通信員

新型コロナウイルス感染拡大の影響が続くなか、九州・山口シニアクラブの「第18回定期総会」については、従来ベースでの開催が難しいと判断し、今年

度に限っては「幹事会で総会決議を諮る」とした。

総会に加え、「懇親会」や「パークゴルフ大会」など、楽しみにされていた皆様も多くおられたと思いますが、会員の皆さまの健康と安全を第一に優先し、無理して総会を開催することは望ましくないと判断した。



と判断した。

9月29日の幹事会では、総会議案の審議を行いました。幹事のみならず熱心に議案の審議をするなかで、この一年間の活動の総括を行うとともに、向こう一年間の活動方針と予算について確認した。そして来年こそは、「多くの会員のみならずが集うなかで総会を開催したい」という強い思いを抱いて定期総会を終えた。

定期開催 山会 富総

消毒、検温など対策を慎重に議論 社会保障改善へ厳しく政治をチェック

米田 豊一 通信員

JAM富山シニアクラブは、2020年10月31日、ボルファートとやまで「第21回定期総会」を開催した。

コロナ禍における定期総会の開催について、幹事会での慎重な議論を行った上で、代議員は例年の半数程度出席を要請し、各構成組織から25名が参加した。

加えて、来賓あいさつや議事については、可能な限りスリム化した上で、会場内は十分なソーシャルディスタンスを確保すること、受付では手指の消毒や検温など感染対策を徹底した。

冒頭、鈴木光男代表幹事は、新型コロナウイルスの感染拡大によ



り、3月以降の活動が自粛されている状況に、

に向け、厳しい目で政治をチェックするこ

「今は我慢の時。会員各位には健康を最優先に、感染防止を徹底した新たな活動に協力をお願いする」とウイズコロナを踏まえた活動展開に期待を寄せた。

続いて、尾島事務局長からは、「高齢者世代を取り巻く社会保障制度の改善

閉会あいさつに立った大石副代表幹事は、「従来の活動は制限されるが、対話行動を止めることなく皆さんと進んで行きたい」と締めくくった。



果となりコロナへの恨み節で終えた。新年度の活動計画については、例年通りとしたが、すべてコロナの収束・動向に左右されるであろう

最後に参加者全員で「滋賀シニアクラブはコロナに負けるな！」を合言葉にガンバロウ三唱で終えた。